

年長組で「お別れ遠足」を実施！「上野動物園」へ新幹線で行ってきました。



・モルモットとふれ合ったり、パンダのシャンシャンや白くまを見学したいと、楽しい一日を過ごしました。



2月21日(木)、年長さんの「お別れ遠足」を実施しました。行き先は、パンダのシャンシャンで人気の上野動物園です。

朝7時30分頃には家の人に連れられて全員が集合しました。担任の先生が人員を確認し、園バス



に乗り7時40分に出発しました。子どもたちの笑顔に乗せ、元気いっぱいに出発したのですが、長田の交差点付近で事故があり大渋滞に巻き込まれてしまいました。このままでは小山駅から乗る新幹線の出発時刻に間に合いません。しかし、



運転手さんが機転を利かし、二宮方面から小山へ向かう道路に道順を変更してくれました。この一瞬の判断が功を奏し、小山駅に新幹線出発時刻の20分前に無事到着しました。緊張していた先生方の顔も安堵に変わりました。(先生方は間に合うかどうかと本当に心配していました。時間に余裕をもった計画だったので、本当によかったです。)

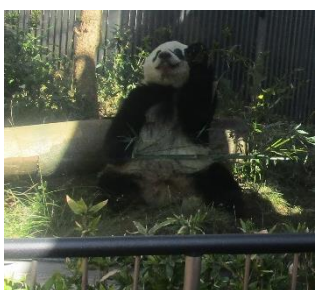


新幹線の改札を通過し、エスカレーターに乗ってホームへ。子どもたちも緊張しているのか、友だちと手をつなぎしっかりと整列しています。9時17分に新幹線が到着。新幹線を初めて



見る子も多く、喜びを体いっぱいに表示しています。素早く乗り込み指定された場所に座ると、ほっとした表情になり、いつもの友だちとふざけ合う賑やかな年長さんに戻りました。途中、車窓から富士山も見え、「すごい、富士山だ。」などと感嘆の声も上がりました。

予定時刻通りに上野駅に着き、またお友だちと手をつなぎ二列になって駅の改札に向かいました。駅の構内は多くの人で混みあっています。新幹線の中とは違い、また緊張気味の顔でしっかりと前を向いて「はぐれないように」歩いていきます。



上野動物園に着くと、組ごとに分かれての活動です。「きりん組」はすぐに西園にある「子ども動物園すてっぷ館」へ行きました。事前に予約が必要な学校団体プログラムで、モルモットなどの小動物とふれあいながら、動物を大切に



にする心や、観察の方法などを学ぶコースです。「ステップ館」のスタッフの方の補助のもと、モルモットやウサギなどの小動物を観察したり、さわってくらべたりしました。【写真】……(一番上左) 園バスの中で、ワクワク感いっぱいの表情！(右) 小山駅で、新幹線を待つ子どもたち。(2段目) 新幹線の中で。表情が実に豊かです。友だちと仲良く過ごすことができました。(3段目) モルモットを観察しました。人間に慣れているため、子どもたちが近づいてもビックリしません。(4段目) モルモットやウサギを二人一組で触ります。触った感じ(ウサギの毛の方が柔らかくふさふさしていました)が違うことも実感できました。(5段目左) ハツカネズミが尻尾を使って上手に輪の上を移動しています。(右) 修了書をいただきました。(6段目・一番下) らいおん組さんがシャンシャンを見学している様子。笹を食べて、本当に可愛らしかったですね。一生の思い出になった事と思います。

年長組での「お別れ遠足」の様子！(NO. 2)～小動物との触れ合いもしっかりとできました。～

〈前号の続きです〉……「子ども動物園すてっぶ館」での様子



初めに、モルモットについての説明を聞きました。前足と後足の指の数が違うことや、頭が大きく胴長なのでどこが境目なのかよくわからないこと、また尻尾がないことなどを観察しながら学びました。次に、プラスチックケースに入れられたモルモットを二人一組で実際に触りました。「頭の方からお尻の方へなでるように」という注意をしっかりと守り、子どもたちは少しドキドキした様子で触っていました。モルモットとの触れ合いの後に登場したのが「ウサギ」です。同じように触り感触の違い（モルモットよりウサギの毛の方が柔らかい）を確かめました。最後は、とても小さな動物が登場しました。「白くて赤目なその見た目とその小さなサイズのバランスはとても愛らしい」ハツカネズミです。モルモットとは違い、尻尾が長く、それを上手にを使って細い線の上を移動したりもできます。実際に触ることができませんでしたが、尻尾を器用に使って線の上を上手に移動する様子を観察することができました。30分程度のプログラムでしたが、子どもたちはスタッフの方の質問にも積極的に答えたり、注意事項をしっかりと守って観察したりすることができました。さすが「高ノ台第二幼稚園の年長さん」だと思いました。

「子ども動物園」での活動を同時にはできないため、「らいおん組」はパンダを最初に見学しました。さすがに一番人気のあるエリアなので、多くの方が並んでいます。でも、時間が早めだったので20分程度の待ち時間で見学することができました。並んでいる間も大騒ぎなどをして列を乱すなどということもなく、お友だちときちんと手をつないで入口まで進むことができました。いよいよパンダのいる小屋の前に来ました。幼稚園児は一般の方とは違い、観覧しやすいようにパンダ舎内の前の列(コース)だったので、比較的ゆっくりと見ることができました。最初の小屋を見ると、何とそこにいたのは「シャンシャン」です。それも、笹を美味しそうに食べているのです。それを見て、子どもたちは「シャンシャンだ」「アー、笹を食べている」と言いながら大喜びです。本当に近くでシャンシャンを見ることができ、とてもラッキーな「らいおん組」さんでした。それだけでなく、シャンシャンの親であるリーリーとシンシンの様子も見ることができました（一匹は寝転んでいて、もう一匹は笹を食べていました）。

【写真】……(一番上～3段目)「子ども動物園すてっぶ館」で小動物とふれ合う「らいおん組」さん。(4段目右)移動の時は、約束通りきちんと手をつないで。(5段目)シマウマの前でプチ記念撮影を！(6段目～一番下)楽しみだった「お弁当」の時間。愛情たっぷり弁当を美味しそうに食べていました。先生方は……？